

山科区
最若手!

京都市会議員

しん た ろ う こじま信太郎

発信
Hassin!

市政報告

VOL.11

2023.3

激論! 財政難のその先へ! みらいに向かって 山科に活力!

UP 財政の回復とイメージの回復



令和5年度の予算の最も大きなポイントは、**22年ぶりに収支の均衡を達成**したという点でした。約2年前の財政危機の表出よりはるか以前、平成14年から京都市が抱える財政の根本課題に一定解決の道筋が見えたことは喜ぶべきことです。

しかしながら、令和3年度に想定されていた予算不足約236億円に対し、人件費の削減や施策の見直し等、行財政改革の効果による収支の改善は約64億円にとどまり、残る172億円は税収の増加や、国からの交付税の増加によるものです。税収・交付税ともに今後とも規模の額が期待出来るかは不透明であり、収支の均衡を継続するためには**緊張感をもって不断の改革**が求められます。

また、「財政が危ない」という情報が想定以上に広まった後に、「財政が回復した」と発信しても、負のイメージを払拭することは叶いません。改革に対する市民理解を促進し、京都市のイメージを向上するためには、歳出削減だけでなく「お金の使い

道を変えて」必要な施策にお金を付け替えることが重要です。とくに納めていただいた税に対して、受益感をもっていただき、**施策の効果が直接感じられる仕組みづくり**がなければなりません。同時に、財政難により傷ついた居住地としてのイメージの回復が急務であり、人口減少対策のためにも、「住みたい」「子育てがしたい」と思っただけの京都市に向けた徹底した取組みが必要です。本予算では**子ども医療費支給制度の拡充**(上限月1500円→1医療機関月200円)など、前向きな改革も示されており、更なる直接支援を広げられるよう提案を続けます。

また、行財政改革の市民理解に向けて、職員の給与カットにより積み立てられる50億円の基金の使い道について、物価急高騰に苦しむ市民の支援に充てるべきと要望しています。

発展 都市としての発展を信じる



財政課題を克服するためには、歳出削減と歳入増加の両面が求められます。**古都・京都を守りながら、現代の都市・京都市を発展**させるメリハリある都市計画を求めてきましたが、今、都市計画の見直しが進められています。

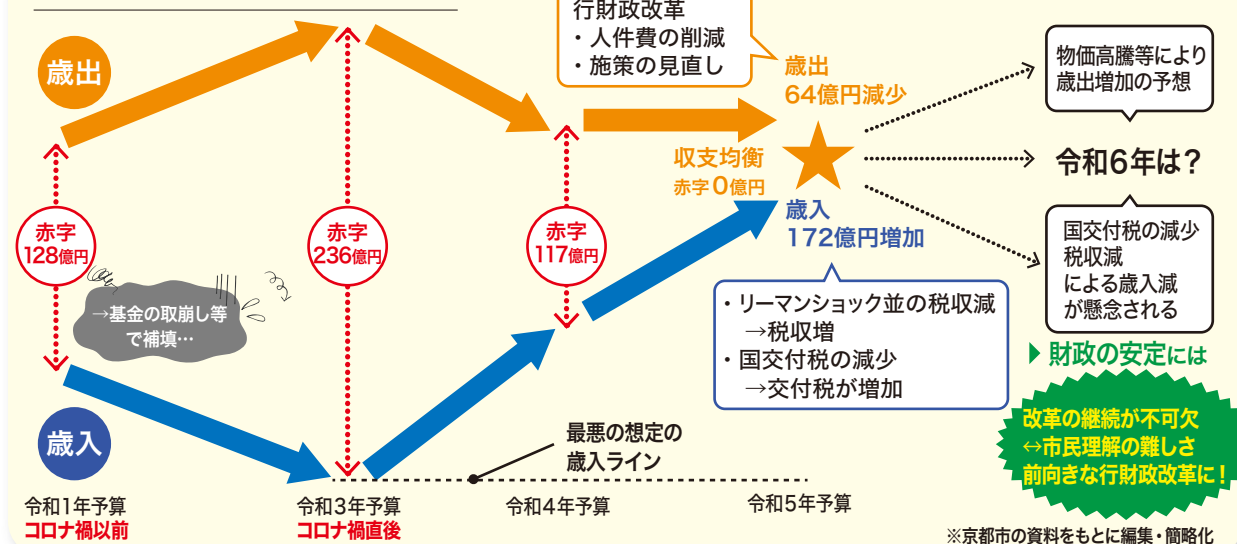
単なる規制緩和に終わらないよう、しっかりと中身を精査しなければなりませんし、都市計画の見直しを契機に、**山科区・京都市東部エリアのまちづくりの重要性**をより一層、全市的な議論としなければなりません。

発展の出発点となる山科駅周辺の魅力向上に向けて、民間の力を活かした精力的な取組み、とくに休止している**ラクト健康文化館の活用**については注視しています。

少子高齢化、老朽化等々、残念ながらまちは放っておけば、どんどん衰退します。まちを守り、持続可能に発展するための変化、改革が必要だと確信しています。

地域に寄り添い、様々なご意見を伺いながら、活力ある山科づくりに向けて提案を続けてまいります。

予算でみる京都市財政の変遷



小島 信太郎 プロフィール



- 1986年(昭和61年)11月10日生まれ
- 衆議院議員 前原誠司 元秘書
- 民主・市民フォーラム京都市会議員団 副団長
- 家族：妻、長女(7歳)、長男(5歳)、猫達
- 特技：社交ダンス、剣道(2段)、和太鼓
- 趣味：ソフトバレー(練習中)
- 好物：ラーメン、蕎麦、たこ焼き、グミ
- 地域：大宅消防分団班長
- その他：京都東山ポーズ顧問

発行元・お問合せ先

こじま信太郎事務所
〒607-8142
京都市山科区東野中井ノ上町 7-68
(東野駅徒歩8分)

TEL : 075-582-1115
FAX : 075-582-1116
E-mail : kojima.hassin@gmail.com



提案が実現へ

子育て支援「はぐくみアプリ」リニューアルへ!

「京都はぐくみアプリ」は、京都市独自のアプリとして子育ての情報発信を担ってきましたが、開発から8年が経過し、様々な使いづらさを指摘いただくようになりました。

そこでまず、アプリを開発・運営する会社に訪問し、アプリを運用する肝を伺いました。その中で、「はぐくみアプリ」がウェブビューという形式になっていることが情報表示の遅さ等に繋がっていることも知りました。しかし、根本から作り変えるには予算が掛かります。

そこで昨年2月市会の代表質疑で、**民間事業者のアプリ導入**について提案しました。他都市の状況を調査すると、導入には初期費用がかからず、年間費用も現在のアプリのランニングコストと同等であることが明らかになりました。

数回にわたり利便性向上を求めてきたところ、今予算に「**はぐくみアプリ**」の**リニューアル**が示されました。使いやすさの向上に加え、予防接種のスケジュール管理等、母子健康手帳機能の追加等、**子育てをする上でニーズの高い機能が拡充**されます。

また幅広い年代の情報発信に向けて、AIチャットボットの活用も進められます。アプリは機能を絞って、ホームページと役割分担をすべきという点も指摘してきたところです。今後も、子育て施策の充実に努めます。



京都はぐくみアプリ
☆☆☆☆☆

先進的なアプリ開発は素晴らしいものの、使いづらさが目立ち、評価も低め



母子モアプリ
☆☆☆☆☆

民間アプリはこまめなアップデートにより使いやすさと高い評価を維持できる



※このアプリが導入されると決定しているものではありません

4月から! プラスチック製品の 分別回収

プラスチックのリサイクル促進のため、令和5年4月から、これまで燃やすごみとして捨てていただいていた**プラスチック製品**も、「容器」と「包装」と一緒に**資源ごみとして分別回収**されます。100%プラスチック素材のものに加え、大部分がプラスチック素材のもの（おもちゃ、ハンガー等々）も対象になります。

燃やすごみから資源ごみになるため、**家計にも優しい分別**といえます。

また、資源ゴミから異物を除去する工程は手作業で行われています。残念ながら、注射器や刃物など、危険物等が混入し続けています。最悪の場合には、作業にあたる方が怪我をするケースもあるため、ぜひ正しい分別回収にご協力ください。

資源ごみとして分別回収するプラスチック製品(例)



中学校 全員制給食の実施へ!

コラム

発信10号に掲載したわが会派の予算要望が実現し、令和5年度予算には、公立中学校の全員制給食実施に向けた調査費が示されました。費用等を度外視した要求ではなく、建設的な提案が実現を結んだといえます。今後は、いかに早期に実施できるか、より質の高い給食を提供できるかが重要なポイントになります。

これまで同様のセンター方式でも、発注する個数が確定することで、品質や効率性の向上に繋がるはずですが。

限られた予算のなかで、出来る限りベストな方式での実施に繋がるよう、引き続きご意見を伺いつつ提案いたします。



もっと美味しく
食べられる工夫と
早期実施の両立を

現在の中学校給食



街頭活動を続けるなかで



緊急事態宣言下をのぞき、街頭活動を続けてきました。京都市会での議論や、重要テーマについて報告することはもとより、道行く皆さんの顔を見ることが大事だと感じています。

その時々で、明るい表情、暗い表情、世の中のムードが強く表れています。通勤・通学、思いは様々ですが、ひとりでも多く明るい気持ちでお出掛けいただけるよう、社会の課題に向き合わなければと痛感します。

また、一方的に訴えるだけでなく、一言でもご意見・ご要望をいただくことが最も励みになります。ぜひ、山科のまちかどでお見かけの際は気兼ねなくお声がけください。



山科 魅力発信

山科から 非公開文化財発信!

春の「京都非公開文化財特別公開」に音羽山中の法蔵寺が初参加されます。(山科からは随心院も参加) かの天智天皇の作と伝わる十一面観音菩薩や内海氏による大蛇退治を記した絵巻など貴重な文化財が公開されます。

法蔵寺へはふもとから50分ほどですので、春のハイキングを兼ねてぜひお出かけください!

法蔵寺は4月17日～21日、29日～5月7日
随心院は4月22日～5月14日

CHECK! 山科でともに 活動しております



衆議院議員 まえはら 誠司



府議会議員 かじわら 英樹

